

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会  
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Cコート 第5試合 深谷市民体育館

チームA	100	$\left. \begin{matrix} 28 & - & 15 \\ 25 & - & 19 \\ 20 & - & 30 \\ 27 & - & 25 \end{matrix} \right\}$	89	チームB
盛岡市立 岩手				県立富山商業 富山

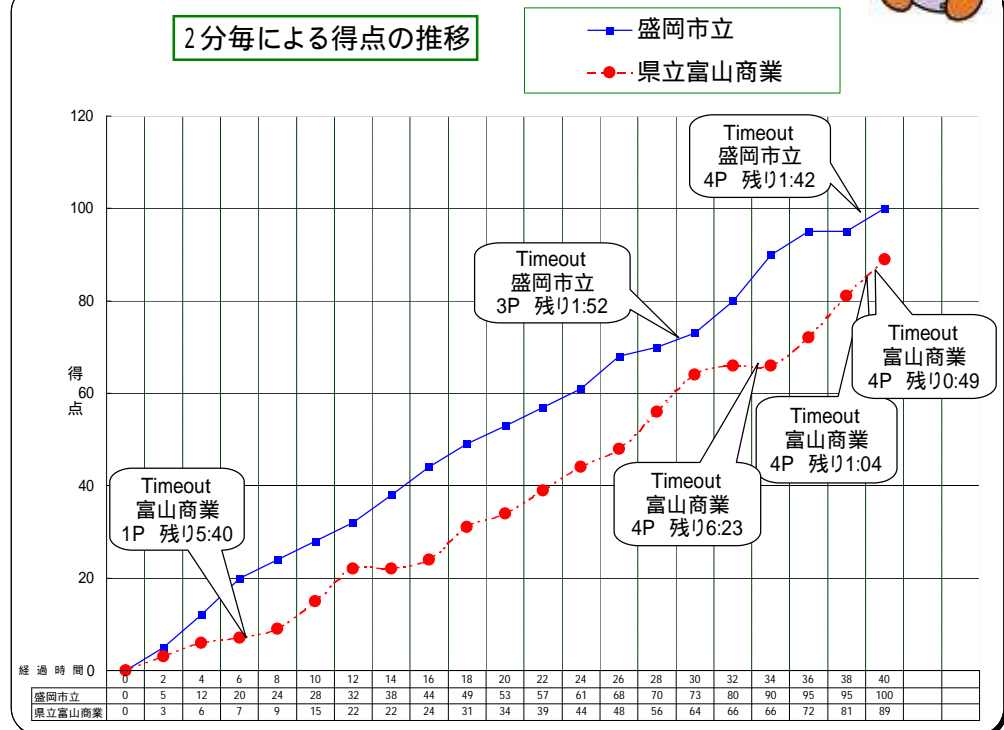
盛岡市立

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	鈴木 優也	X	16	4	8	2	7	0	2	0	0	5	7	3	7	0	36
5	高橋 且磨	X	19	0	0	9	14	1	4	4	0	7	1	1	2	0	24
6	笹崎 航大	/	2	0	1	1	1	0	0	1	1	0	3	0	0	0	4
7	佐藤 駿	/	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
8	大森 怜	/	18	4	7	3	9	0	0	0	2	0	2	1	2	1	24
9	佐々木 恭	X	18	0	0	6	11	6	8	4	8	6	0	1	1	0	35
10	田中 館 洸	X	20	2	8	6	16	2	2	2	4	5	2	1	5	1	33
11	早川 信太郎	X	2	0	0	1	2	0	0	2	1	1	1	1	2	0	19
12	田 上 翔	/	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1
13	石井 雄大	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	5
14	晴山 ケビン	/	2	0	0	1	3	0	1	3	2	5	3	0	0	1	16
15	似鳥 晃太	/	2	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
コーチ	室岡 茂彰									0	6	13					
出場: ×は先発、/は出場			100	10	24	29	65	12	21	16	25	42	21	8	19	4	200
確率				41.7%		44.6%		57.1%			計	67					

県立富山商業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	坂本 康耀	X	19	3	7	4	15	2	2	4	2	6	4	0	2	4	37
5	中根 宇一	X	4	0	0	2	8	0	0	3	0	2	1	0	0	2	29
6	佐々木 謙二郎	X	6	2	8	0	0	0	0	3	1	1	0	3	1	3	21
7	鈴木 亮介	X	30	1	7	12	22	3	4	4	7	2	2	3	3	0	40
8	高瀬 智也	X	8	0	0	3	7	2	4	5	0	3	2	4	3	1	24
9	中尾 祥吾	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10	上田 武蔵	/	5	1	4	1	1	0	0	0	0	4	4	1	0	1	18
11	岡山 翔太	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	軍記 裕輔	/	9	0	1	2	4	5	6	4	1	5	1	1	3	0	14
13	中村 佑弥	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	金川 一樹	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	金田 和巳	/	8	0	1	4	4	0	0	0	0	3	1	3	2	0	16
コーチ	広川 知己									0	4	4					
出場: ×は先発、/は出場			89	7	28	28	61	12	16	23	15	30	15	15	14	11	200
確率				25.0%		45.9%		75.0%			計	45					

2分毎による得点の推移



**戦評**  
激しいディフェンスから速攻を狙う盛岡市立と北信越大会ベスト4の富山商業は、3Pを中心のオフェンスで対戦した。  
第1P 共にハーフコートマンツーマンで開始。富山商業は硬さからシュートミスが続く、盛岡市立の厳しいディフェンスから速攻で加点していく。盛岡市立#10田中館の15得点などで28対15で盛岡市立が主導権を握る。  
第2P 盛岡市立#9佐々木のポストプレイやリバウンドの活躍で加点していく。一方、富山商業は、#4坂本の得点でつないで、53対34で盛岡市立のリードで前半を終了する。  
第3P 富山商業は3-2のゾーンディフェンスから相手ガードのミスを誘い、特に#7鈴木の闘志あるプレイで追撃し詰め寄り。73対64で9点までにする。  
第4P 富山商業は、オールコートのプレスディフェンスで必死に追いかけるが、盛岡市立#8大森の3Pが要所で決まり、100対89で富山商業をしりぞけた。

主審	伊橋 隆治	副審	片山 雅人	戦評	小池 賢次 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット

